

# ボーリング柱状図

調査名 主要地方道 東城西条線 外測量地質調査設計業務委託 (道路災害防除)

ボーリングNo. 

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	藪谷橋 No. 1		調査位置	広島県庄原市東城町森 外				北緯			
発注機関	広島県北部建設事務所 庄原支所			調査期間	平成 27年 5月 27日 ~ 27年 12月 31日			東経			
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者				
孔口標高	TP 554.65m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南	地盤勾配	鉛直 0° 水平 30°	使用機種	東邦 D-1	ハンマー落下用具	半自動
総掘進長	7.00m	度	0°	向				エンジン	ヤンマー NFD13	ポンプ	東邦 BG-3

標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記述	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	深 (m)	試験番号	採取方法	室内試験 (月日)	掘進		
											深 (m)	10cmごとの打撃回数										貫入量 (cm)	N 値
												0	10	20									
553.95	0.70	0.70			砂質土	暗褐			砂は細粒砂が主体、極少量の細礫と粘土分が混じる。	0.50	1.15	50	7	50	7	214							
					礫混じり砂	暗褐 / 淡褐	緩い / 密な		砂は粗粒砂が主体、径10~20mmの角礫・円礫が少量混じる。深度3.50~3.80m間は礫の混入が多い状態。深度1.22~1.45m間は硬質な玉石を挟む。		1.22	1	1	3	5	30	5						
550.85	3.10	3.80			花崗岩	淡褐			花崗岩の風化部。コアは風化が見られ、長さ100~150mmの円形コアで採取される。またコア肌荒くハンマーの打撃で礫状~岩片状となる。深度4.11~4.30m間は土砂状となる。		2.15	10	9	17	36	30	36						
											3.15	10	9	17	36	30	36						
											3.45	50	9	50	9	167							
											4.21	貫入不能		50	9								
											4.30	貫入不能		50	9								
											5.00	貫入不能		50	9								
											6.00	貫入不能		50	9								
											6.00	貫入不能		50	9								
547.65	3.20	7.00									7.00	貫入不能		50	9								
											7.00	貫入不能		50	9								